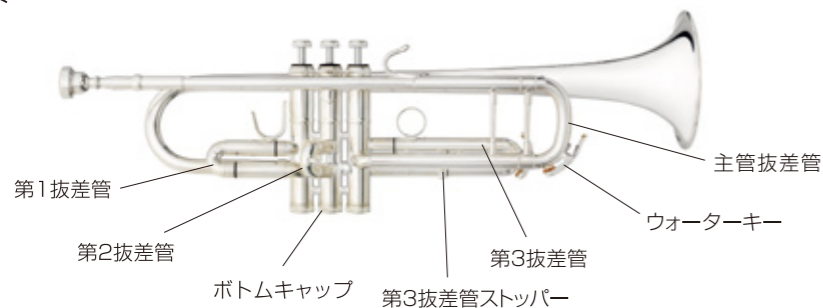


CORNET
コルネット



TRUMPET
トランペット



FLUGELHORN
フリューゲルホルン



■銀めっき仕上げについて

めっき加工されている金属部分は、その性質上ご使用にともない変色、摩耗します。

また、ゴム製品、石油製品、排気ガスや火山性ガスに含まれる硫化ガスにより変色することがありますが、ご使用には影響ありません。

金属の腐食、摩耗が激しい場合は、お買い上げ店または弊社テクニカルサポートへご相談ください。

■ラッカー仕上げについて

ラッカー塗装の材質は樹脂のため、ご使用にともない摩耗したり、剥離する場合があります。また、経年変化により金属が変色する場合があります。

いずれの場合もご使用には影響ありませんが、金属の腐食・摩耗が激しい場合は、お買い上げ店または弊社テクニカルサポートへご相談ください。



銀めっき仕上げ



ラッカー仕上げ

■ご注意ください

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 小さな部品を誤飲する恐れがあるため、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 針のように鋭い部品を使用していますので、取り扱いには十分注意してください。
- 破損がある場合は、使用を中止してください。

BUFFET CRAMPON

株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパン

〒135-0016 東京都江東区東陽4-8-17
TEL.03(5632)5511 FAX.03(5632)5526

ショールーム TEL.03(5632)5728

テクニカルサポート TEL.03(5632)5524

営業時間 10:00~17:30 (日・月曜日、祝日定休)

*営業時間は天候災害、社会情勢の変化に伴い変更する場合がございます。
最新の情報はブランドウェブサイトをご確認ください。



〈ベッソン〉
www.besson.com/ja/



〈アントワンヌ・クルトワ〉
www.a-courtois.com/ja/



〈B&S〉
www.b-and-s.com/ja/

取り扱い説明書

〈ベッソン〉〈アントワンヌ・クルトワ〉〈B&S〉

コルネット
トランペット
フリューゲルホルン



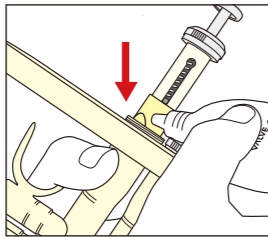
BUFFET CRAMPON

■演奏前の準備

【バルブオイルの注油】

【ピストン】

1. トップキャップを外し、ピストンを途中までまっすぐゆっくり抜きます。
2. ピストンにバルブオイルをさします。
3. ピストンをバルブケーシングに戻します。
ピストンを左右に回し、バルブガイドをケーシング内の溝にはめます。トップキャップを締めた後、数回ピストンを上下させ、バルブオイルをなじませます。



ピストンはまっすぐ真上から押してください。

ピストンは、ななめの方向から押すと動作不良の原因となります。まっすぐ真上から押してください。

【マウスピースの取り付け】

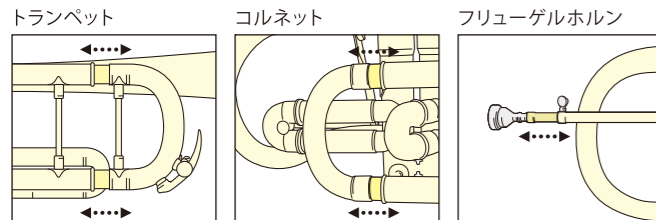
マウスピースを軽く差し込みます。

強く差し込むと抜けなくなることがあるので注意しましょう。

■ピッチの調整

ピッチの調整は、各拔差管をスライドさせて行います。

ピッチは気温に影響されるので、演奏前に息を吹き込み充分に楽器を温めてから調整してください。



■演奏前の点検

ピストンの向きと番号は正しいですか？

バルブガイドがケーシングの内側の溝にきちんとおさまっているか確かめましょう。

ピストンフェルトなどの消耗品が劣化していませんか？

ピストンフェルトが劣化していると、金属音の原因になります。新しいピストンフェルトに交換してください。

息漏れをしていませんか？

ウォーターキーのパッドが劣化していると息漏れが生じる場合があります。新しいパッドに交換してください。

ネジ類がゆるんでいませんか？

ネジ類がゆるんでいると金属音の原因になります。ネジ類はきちんと締めてご使用ください。

● コルネットの一部の機種に主管拔差管トリガーが装備されているものがあります。

拔差管はまっすぐ抜き差し

拔差管は2本の管で構成されています。両方の管に均等な力が加わるようにまっすぐ抜き差ししましょう。特に短い管は抜きにくいので注意して抜き差ししてください。

■演奏後のお手入れ

【水抜きとバルブオイルの注油】

1. ウォーターキーから管内の水分を充分に抜いてください。
第3拔差管にウォーターキーが装備されていない機種は、第3ピストンを押しながら抜いて、管内の水分を充分に抜いてください。また、管内に汚れがたまっていると音抜け・音程が悪くなります。手順に従って楽器を洗浄してください。
2. 演奏前と同様に、ピストンにはバルブオイル、ロータリーにはロータリーオイルをさしてください。

【楽器表面のお手入れ】

楽器の表面をクリーニングクロスでやさしく拭いてください。

■定期的なお手入れ

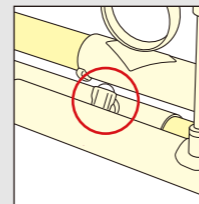
【ピストンとバルブケーシングのお手入れ】

1. トップキャップを外しピストンを抜き取ります。
ボトムキャップも外します。
2. クリーニングロッドにガーゼを巻き付け、バルブケーシングの内側の汚れを拭き取ります。
3. ピストンの汚れを拭き取ります。
4. 「演奏前の準備【バルブオイルの注油】3.」の要領で、ピストンをバルブケーシングに戻します。
5. ボトムキャップをバルブケーシングに戻します。

【各拔差管のお手入れ】

1. 各拔差管の古いグリスを拭き取り、新しいスライドグリスを塗ります。
2. 拔差管にグリスをなじませるように、2～3回スライドさせてください。

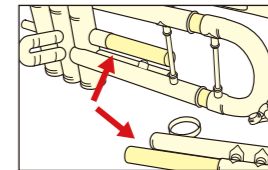
● 一部の機種は第3拔差管ストッパーに、ワンタッチで着脱可能なボールスプリングタイプものがあります。このタイプの拔差管は、第3ピストンを押しながら強めの力でまっすぐ引き抜きます。



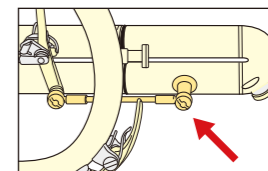
● ピストンとバルブケーシングはミクロン単位による精密な加工により制作されています。お取り扱いには充分ご注意ください。ピストンとバルブケーシングに汚れがたまり動作不良の原因となります。定期的なお手入れを心がけてください。
また、管内に汚れが多量にたまっていると音抜け・音程が悪くなります。手順に従って楽器を洗浄してください。

● 拔差管は汚れがたまると動きが悪くなり、固着の原因となります。定期的なお手入れを心がけてください。

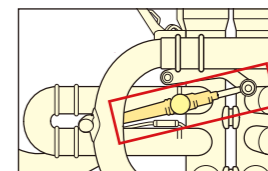
3. 第1・第3拔差管にリングやフックが装着されている楽器は、動きが軽くて滑らかなキーオイルなどを使用してください。



4. バネ式トリガーが装着されている拔差管は、スクレュードライバーで拔差管とトリガーロッドを連結しているネジを取り外し、キーオイルなどを使用してください。



5. BE2028の主管拔差管トリガーは、トリガーアジャスターのネジを緩め、主管拔差管を取り外し、キーオイルなどを使用してください。



【マウスピースのお手入れ】

マウスピースは、マウスピースブラシに中性洗剤を含ませ、内部にブラシを通した後、きれいな水で充分に洗い流してください。

■楽器の洗浄

- 管内の汚れがひどい場合や、砂埃などの異物が混入した場合は、お買い上げ店または弊社テクニカルサポートへご相談ください。

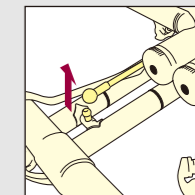
- 楽器からピストン、ボトムキャップ、各拔差管を外します。

- 中性洗剤を含ませたフレキシブルクリーナーで、管内、拔差管、ピストンを洗います。

- 洗浄後、きれいな水で充分に洗い流してください。

- 楽器の表面は、きれいな布で水分を充分に拭き取った後、クリーニングクロスで乾拭きしてください。

- ピストン、ボトムキャップ、各拔差管を元に戻します。その際、ピストンの注油、各拔差管のグリスアップを必ず行ってください。



● 一部の機種にワンタッチで脱着可能なトリガーがあります。このシステムのトリガーは強めの力で矢印方向に引きぬいて、キーオイルを使用してください。

■取り扱いの注意

錆(サビ)に注意しましょう。

トップキャップ、ボトムキャップは水分により錆が生じやすい部分です。キャップを締めたまま長期間放置せず、定期的に開け閉めしてください。

■こんな時は

お買い上げ店または弊社テクニカルサポートにご相談ください。

衝撃でゆがんでしまった。

衝撃を受けると管体がゆがんだり、可動部が変形して動作不良の原因となる場合があります。

異物が取れない。

管内にさまざまな異物(バルブオイル、クロス等)などが入り込み、取れなくなることがあります。

ハンダが外れてしまった。

ハンダが外れていると金属が共振し、異音が生じる場合があります。